

心理学的評価手法を利用した

日常用下腿義足のためのカバー製作

政策・メディア研究科 修士1年 山中デザイン研究室

岡田真由子

背景

外傷を受けた患者が受けやすい
心理的防衛機制

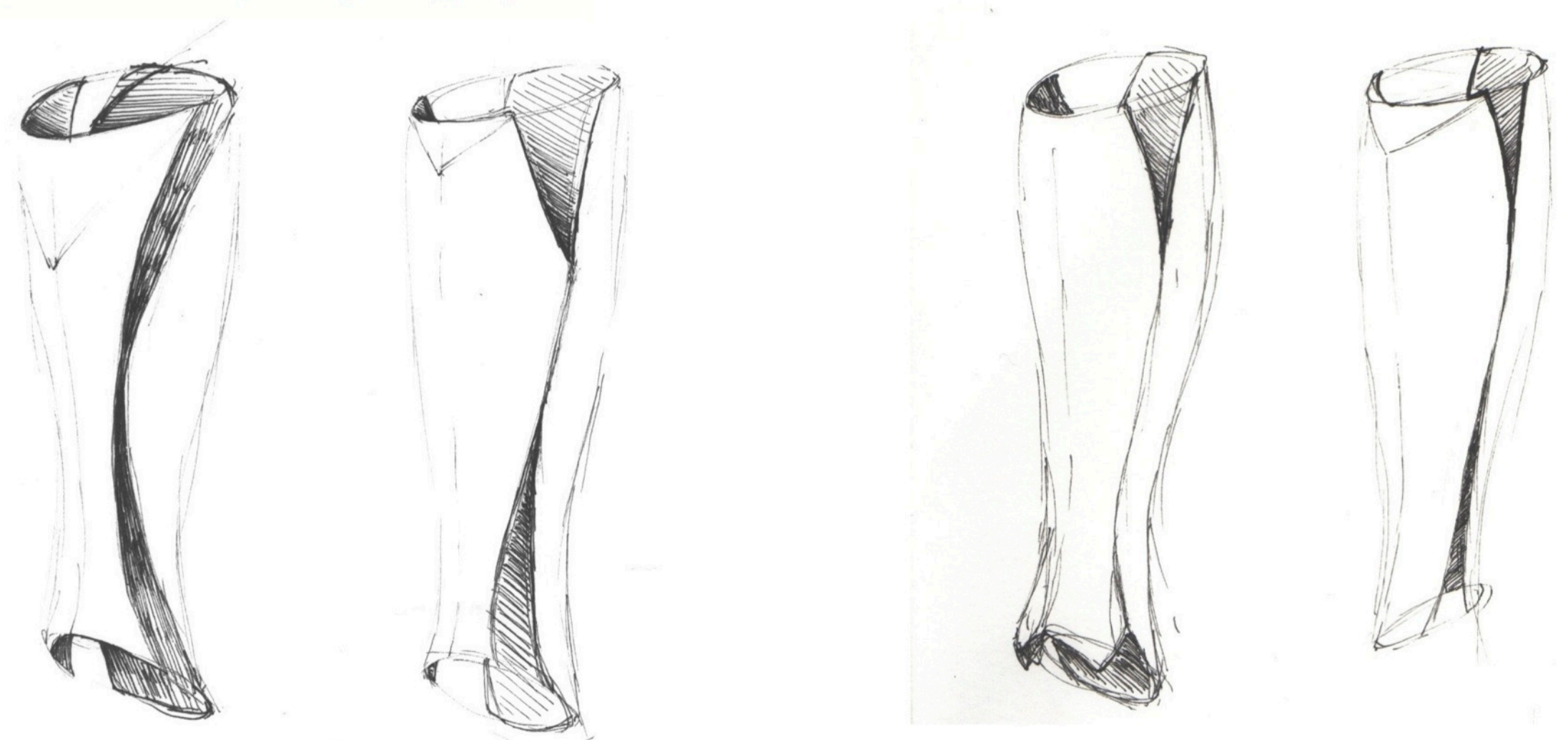
引きこもり	不安
否認	鬱
退行	悲嘆 など
怒り	

既存の義足の形状が
それらの心理的外傷を加速させている？

新規義足使用者にとって、他者が義足に抱く
印象は、自分がそれに対して抱く印象を左右
する重要な要因

多くの人が美しいと感じる義足を作ること
ができれば、義足新規使用者、またその近親
者の最初のショックを最小限にとどめるこ
とができる

カバーデザイン



義足カバーは、義足使用者にとっての使いやすさも考慮し、義足カバーを装着した状態でも義足を脱ぐ時に押すボタンを押せるようにする。

心理学的評価

ユーザー評価

開発中のプロトタイプを実際に見せ、生の声を集めることをユーザー評価と呼ぶ。製作者の主観ではなく、義足使用者と非義足使用者双方に受け入れられる義足カバーの製作をするために行う。

印象評価

完成した義足カバーが本当に義足使用者と非使用者に受け入れられるものになったのか、またそれにより、両者の心情が変化したかを確認するために行う。

参考文献

白濱勲二, 小林隆司, 金村尚彦, 新田春子, 吉村理 (2004) 上肢切断と心理学, 日本義肢装具学会誌, Vol.20, No.1, 33-36
日本インダストリアル協会, 2009, プロダクトデザイン 商品開発に関わるすべての人へ, ワークスコーポレーション
福田忠彦・福田亮子, 2009, 増補版 人間工学ガイド ー感性を科学する方法ー, サイエンティスト社